

クリティカルケア特定認定看護師が 新たに1名誕生しました



当院では地域住民へ安全で安心な質の高い看護が提供できるよう教育や専門職としての更なるキャリアアップ支援を行っており、この度新たにクリティカル特定認定看護師が誕生しました。熟練した看護技術と知識を日々の看護実践に活用し、活躍しています。

クリティカルケア特定認定看護師
ICU 高木 奈津子

私は2013年に故郷である島原に戻り長崎県島原病院に入職しました。ICUに配属となり勤務する中で、一時は生命の危機的状況に陥った患者さんが少しずつ回復され、社会復帰まで行きつくことができた喜びを感じました。一方で、回復の過程で二次的合併症を起し重篤化してしまったもどかしさ、急変予兆に気づくことができなかった悔しさを味わってきました。目の前にいる患者さんに看護師である自分ができることは何なのか、それを実践につなげるためには、やはり専門的知識を持ってアセスメントを行い、迅速で柔軟な対応につなげることだと思いました。そして、2023年大阪府看護協会クリティカルケア認定看護師教育課程に入学し、2024年12月目標であったクリティカルケア認定看護師になることができました。

認定看護師には実践・指導・相談という3つの役割があります。安全で質の高い医療の提供を目標に、クリティカルな状況にある患者さんの重篤化回避、合併症予防、早期回復に向けた看護実践や指導を実践していきたいと思います。チーム医療が重要視されている中で、医師や看護師、多職種の橋渡しのような存在になれるよう尽力していきたいと思っております。まだまだスタート地点に立ったばかりですが、必要とされる存在になることを目標に頑張ります。どうぞよろしくお願いいたします。

